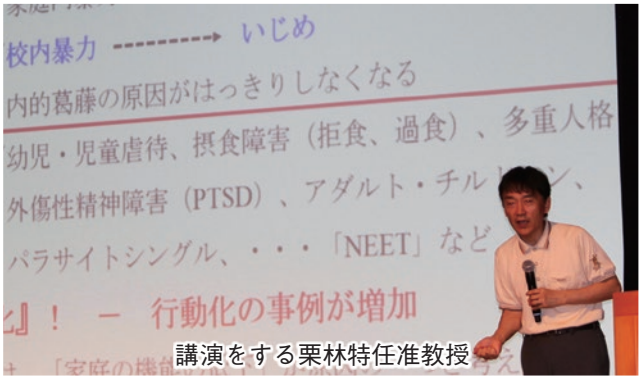
青少年健全育成フォーラムを開催しました

８月20日、ふるさと交流圏民センターオルテンシアのふるさと交流ホールにて「青少年健全育成フォーラム～いじめのない社会を作るために～」を開催しました。

昨年度に引き続き、２回目の開催となるこのフォーラムには、市内各小・中学校の児童生徒、教職員、ＰＴＡ関係者、その他関係機関や一般参加者を含めて、約250人が参加。いじめのない学校や社会を実現するために、発表や講演が行われました。



講演をする栗林特任准教授

講演では、弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センターの栗林理人特任准教授が「子どものメンタルヘルス－不登校、いじめとの関連から－」と題し、不登校やいじめの問題について専門的な見地から解説するとともに、子どもたちの心の成長を促すために「見守ってくれる大人」の存在が重要であることを話しました。

いじめ防止の取組を発表する
五所川原第四中学校生徒会本部

五所川原第四中学校３年の太田惟斗さんら生徒会本部の７名が「いじめをなくす学級憲法」の制定など、学校におけるいじめ防止のための取組を発表。五所川原第一中学校３年の大町輪さんと乗田未歩さんは、７月28日に五所川原市民学習情報センターで開催された「五所川原市いじめ防止子どもサミット～いじめゼロを目指して～」において「五所川原市いじめゼロ宣言」を作成した様子を報告しました。

最後には、市浦小学校６年の相馬そのみさん、いずみ小学校６年の前田真之介さん、五所川原第三中学校３年の石村唯さん、岩本康生さんの音頭に合わせ、会場の参加者全員が「五所川原市いじめゼロ宣言」を行い、フォーラムを締めくくりました。

新学校給食センターが稼動しました

学校給食センターは、建設から45年以上が経過し、施設等が老朽化してきたことから、平成25年度に建設事業に着手、今年７月に全ての工事を完了させ、五所川原地区の市内小中学校の２学期開始とともに稼動しました。

新しく稼動した学校給食センター

施設概要

所在地：五所川原市大字金山字竹崎203-1
敷地面積：18,366.94㎡
建物面積：4,347.79㎡
調理能力：4,500食／日

新しいセンターで調理された給食を食べる
五所川原中央小の1年生

心身の成長・発達期にある子どもたちにとって、栄養バランスのとれた給食は、健康増進や体位の向上、また望ましい食習慣を身につける上でも大切です。

新学校給食センターでは今後、最新の機器やシステムによる徹底した衛生管理のもと、安全・安心でおいしい給食を提供していきます。

また、平成29年度からは、金木地区への配送や食物アレルギー対応給食の提供も予定しています。

問　学校給食センター　TEL34－2832